

『もろこみ』キャッシュ・バックキャンペーン実施中!

「頭金0円」、しかも「登録時諸費用」や乗っている間の「車検基本料」、「自動車税」、「自賠責保険料」、「自動車重量税」すべてが月々税込み1万円に含まれています。  
さらに、車を返却する必要もありません。

「私は、一日300円で

車を買いました。」



カーコンビニ倶楽部 〒108-0075 東京都港区港南2-11-19 大滝ビル  
☎0120-0120-55 <http://www.carcon.co.jp>

## 『変貌する時代』

世界経済が不安定である。日々の変化が激しい。しかし、それはかなりのスピードで未来を引き寄せている。インターネットやAIやエネルギーなどの進化の革新的なスピードに、私たちの日常生活が懸命についていこうとしている。アメリカの車社会も、環境規制に対応しながら、自動運転やEV(電気自動車)の試作品が次々と登場している。

Googleがフォードを買収し、マイクロソフトがGMを買収し、車という固有名詞がなくなり、移動体としての機能を追求していく社会が来ている。

カーコンビニ倶楽部も、カーネットやお客様に経済的なエコライフを提供する「もろこみキャンペーン」、将来的にはおそらく複雑化するであろう自動運転車の損害保険の提案、またドライバー等の普及による地域活性のための各拠点ごとのコミュニケーションの強化など、時代に対応する企画が山ほどある。

しかしながら、これらの産業革命はあくまで車社会の分子であり、分母は超高齢社会である。労働力の確保もさることながら、高齢社会のライフスタイルは、病院や老人ホームと自宅を行き来するだけではない。例えば、カーコンビニ倶楽部の加盟店に来店するお客様のコミュニティを演出したり、さらには生活用品の販売、また農作物等の生産、またドラッグストアとの提携による薬やメディカル関連商品の販売など、車をゲートウェイにして様々な社会に役立つことが可能である。

私は、この時代に生まれてきて、しかも車というビジネスをしていることが幸福だと思いがしげばある。度々提携先の企業を訪れに、バンコクに行くことがある。そこにはまだ1970年代の日本がある。社会的なインフラもまだまだ構築できていない。彼らの生活や人生を豊かにするために、何をなすべきかと今考える。カーコンビニ倶楽部は、将来、カー・コンサルティング・コミュニティと呼べる日も近いと思う。



林 成治 Seiji Hayashi  
出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業  
1981年4月:プロミス株式会社入社  
2008年4月:同社執行役員就任  
2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任  
2008年10月:同社代表取締役就任  
2009年8月:バル債権回収株式会社 常務取締役就任  
2010年4月:株式会社Do フィナンシャルサービス取締役就任  
2011年1月:同社取締役退任  
2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任